



知られざる

## ランチェスター先生の経歴

【マル秘メルマガ】より 20 通目その 2

### ◆25 歳で独立・起業

アメリカから帰った 1893 年の終わり頃 (25 歳) 兄は T・B・バーカー氏との契約を破棄し、会社をやめた。

私は年季奉行のあと、工場のマネージャーとしてポジションを手に入れた。

兄が会社を辞職した理由は、いろいろな実験しなければならないことや、科学上の研究があるからだということだった。

バーカー氏との仕事上のつきあいがあった間、兄は機械展示室とつながった小さな作業場を借りていた。そこに 3～4 人のウデの良い職人を雇って色々な実験をしていた。

1892 年に兄はバーカー氏のために、1 気筒で毎分 600 回転の 3 馬力型垂直ガスエンジンを作った。このガスエンジンは直流発電機に直接連結できるものであった。これはバーカー氏の会社で作られたが、発電機だけは兄の作業場で作った。

この小さな発明は数年の間、一般の会社、それに電気設備やガス会社の一部で使われていた。

1893 年、兄は別の単一シリンダーのエンジンを設計して作りあげた。それは毎分 800 回転する垂直エンジンで、ストロークは 3.75 インチ、エンジンの内径は 4.5 インチのものだった。

そのエンジンは「ベンゼン燃料」で動かすことができた。

この原型は、後にランチェスターカーに使われている。

それには筒型の点火装置があって、その筒はランプで暖められるようになっていた。このエンジンは平底船舶に適している。というのは、船舶の外輪車の強い推進力に大きな役目を果すからである。

兄はワーウィック・シャイヤーと命名した 10 トンの船を自分の庭で作り、1894 年オックスフォードのサルター造船台から進水させている。

そのモーターボートの外輪車で面白いことは、それが今までイギリスで作られた最初のモーターボートである、ということであった。

このボートは 2 つの円盤のチーク材で出来ていて、円盤のみぞの中に、チーク材でできた水かきが入っていくようになっていた。

そして左右のスレッド・スリーブネジに支えられた、青光りのするブロンズの輪と抱きあわせになっていた。

これらは全て兄フレデリック自身の手作りであった。

この時期に発明したエンジン類は、今ではすでに時代遅れとなっているが、ランチェスターカーに使われた。

バランスがよくとれたエンジンであったので非常に有名になり、その進歩で最高潮に達した。

それは 1895 年から 1905 年の間の実験結果に基づくもので、エンジンの世界では、4 シリンダーから 6 シリンダーにとって変わるものであった。

(続く)

ランチェスター経営 (株)



〒810-0012 福岡市中央区白金 1-1-8 チュリス薬院 301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>